

●一斉学習

■児童生徒自主学習型

実践タイトル ICTを活用し、文のイメージを具体化する

本時のねらい

現在どのようなことが環境問題としてあがっているか、生徒に認識させ、それに対して何ができるか考えさせる。Web辞書を活用し、スムーズに本文の翻訳ができるように支援する。画像検索を使い、環境破壊の具体例を知ることができるようにする。それぞれのまとめをデジタルテレビに表示する。

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

タブレットPC

肢体不自由のために、書写が苦手な生徒が、タブレットPCの写真機能やWeb接続機能などを使うことで、情報の収集・整理・出力が簡単にできる。

Web教材

肢体不自由のある生徒にとって、紙の辞書は使いにくい。また、電子辞書も操作ボタンや表示部が小さく、必ずしも使いやすいとは言えない。タブレットPCとWebを組み合わせることで、英単語の語彙検索が非常に簡単になった。

参考にしてほしいポイント

肢体不自由のある生徒にとって、これまでのPCは、持ち運びや入力面での困難が大きかった。しかし、Web接続機能があるタブレットPCは持ち運びが簡単なので、自宅に持ち帰っての復習や予習が簡単にできるだけでなく、授業時間中も無線機能を使って画面を共有するなど、柔軟な運用ができる。

学習の流れ(分)	主な学習活動と内容	ICT機器・教材、コンテンツ等
本時の展開	0 ○前回までの板書写真を見て、学習内容を確認する。	・タブレットPC (写真1・2) ・Web教材 (辞書・翻訳)
	10 ○発音の確認。 ・タブレットPCの音声読み上げ機能を活用する。(写真3)	
	40 ○新しい単語の発音や意味を確認する。 ○関係副詞Where、Whenに着目しながら、大意をまとめる。	・タブレットPC ・Web教材 (辞書・翻訳)
まとめ	50 ○環境問題の解決には何が必要なのか考え、発表する。 ・このままだとどうなるんだろう。 ・自分にできることはなんだろう。	・タブレットPC ・デジタルテレビ

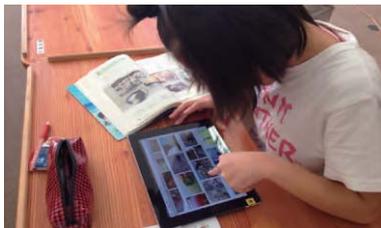


写真1：1人1台ずつタブレットPCを用意



写真2：板書を撮影し、復習に使う

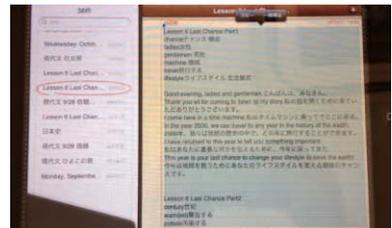


写真3：タブレットPCの文章読み上げ機能

児童生徒の反応

本学級は4月よりタブレットPCを試験的に導入し、生徒の反応を見た。当初はネットが簡単に見られる、写真が撮れるという点に興味が集まった。しかし台数を増やし、1人1台ずつ全員が使える環境を整えたところ、スクリーンキーボードでメモをとったり、写真で記録を残したりと、ノート代わりに便利な学習ツールとして使いこなす姿が見られるようになった。特にこれまでのパソコンのキーボード入力に困難を感じていた生徒は「タッチパネルのキーボードが一番簡単」と、非常に満足している。

活用効果

評価の観点	英語学習への関心・意欲・態度
具体的変容	<ul style="list-style-type: none"> ・Web上の辞書(翻訳サイト)を利用したことで、スピーディに答えられた。 ・日本語訳が難しいものだったので、画像に換えて具体的に知ることができた。 ・環境問題について英語で説明をした。日頃は英語でまったく話さない生徒が、調べたことをもとに、気軽に英語を使って友だちに説明できた。

実践の手応え

生徒が英語学習に興味を持って、自分から気軽に取り組める。画像がすぐに出て共有できるので、これまでよりも深い内容のやりとりができるようになってきた。